

【果樹】の【台風】対策について

<6月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【果樹共通】

(1) 予想される被害状況

園内滞水に伴う根系の枯死及び樹勢低下。
強風による枝の折損及び落葉、落果。

(2) 事前対策

- ① ほ場への降雨が速やかに排出されるように園内の排水対策を徹底する。
- ② 防風ネットの点検を行う。
- ③ 枝の分岐点が裂けるおそれのある幼木や高接ぎ樹では、枝葉をまとめて結束したり、分岐部を縄で8の字型に縛っておく。

(3) 事後対策

- ① 結束した枝は、早めに解いて蒸れを防ぐ。
- ② 幼木・若木・根元から揺さぶられた樹・倒伏した樹は早急に立て直し、盛り土、根締めを行い、支柱で固定する。
- ③ 枝折れ、枝裂けしたところは切り取り、大きな傷口には塗布剤を塗る。
- ④ 枝が裂けたものは、軽傷であれば縄などでしっかり絞って固定し、回復を図るが、激しい場合は切り取って切り口に塗布剤を塗る。
- ⑤ 落葉のひどいものには、日焼けを防止するために、石灰乳を塗布する。

【施設果樹共通】

- ① 施設栽培における対策については、【野菜】の台風・強風・大雨対策〈通年〉の【施設野菜全般】を参考にする。

【かんきつ類全般】

(1) 予想される被害状況

風傷に伴う果実や葉のかいよう病発生。
マルチ資材の破損。
落葉及び落果。
塩害による樹勢低下（沿海地帯）。

(2) 事前対策

- ① 襲来前に銅水和剤の散布を行う。
- ② 温州みかんなどのマルチ栽培では、被覆資材が風であおられないように土のう等で固定する。

(3) 事後対策

- ① 襲来前の殺菌剤の散布を実施していないところでは、銅水和剤の散布を行う。
- ② 塩害が懸念される場合は、6時間以内に2～3トン/10a以上の水で洗い流す。その後落葉が発生した場合は、程度に応じた摘果（場合によっては全摘果）や枯れ枝の整理を行う。

【完熟きんかん】

(1) 予想される被害状況

強風による新梢の折損。
開花時の花粉破裂に伴う結果不良。

(2) 事前対策

- ① 防風ネットを設置し風を弱めるようにする。
- ② 被覆し開花期加温を行っているハウスのうち、開花期に至っている園では、被覆を補強し、雨に当たらないようにする。

【なし、ぶどう】

(1) 予想される被害状況

落果及び落葉。

(2) 事前対策

- ① 棚や防風ネットの補修を早めに行うとともに、棚の揺れの激しいところは支柱を立てて結束するなど補強を行う。
- ② 側枝等の棚への誘引を見回り、ゆるんでいる場合は締め直す。

【落葉果樹全般】

(1) 予想される被害状況

葉や枝に発生する各種の病害。

(2) 事後対策

- ① 病気の発生に注意し、防除基準に準じて襲来後直ちに防除を実施する。